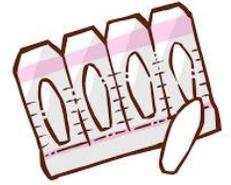


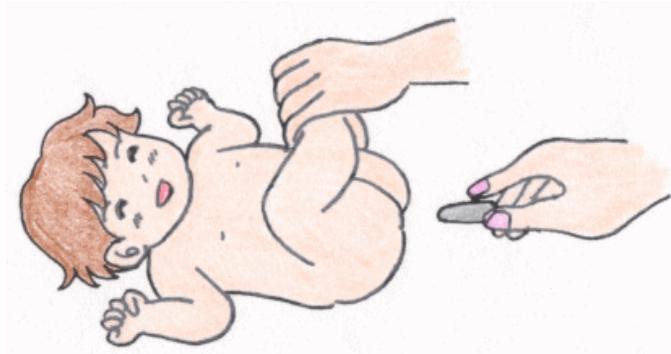
坐薬の使い方



1 おむつを替える体勢で

小さいお子様の場合、おむつを替えるような姿勢で坐薬を挿入します。

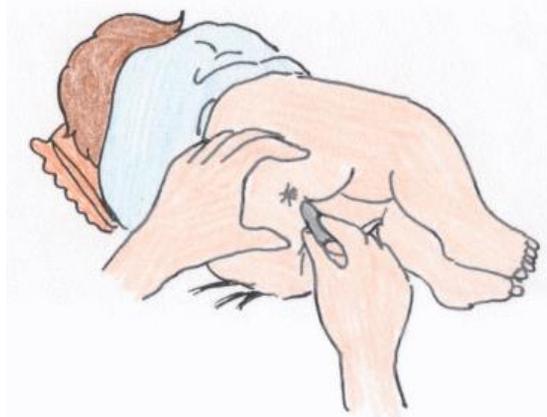
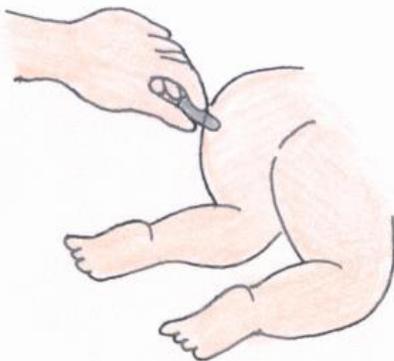
足をあげると肛門が緩くなるので、挿入しやすくなります。挿入後、そのまましばらく指を添えておき、ゆっくりと足をのばすと肛門は締まります。足をあげたり、足をばたばたすると坐薬が飛び出ることがあるので、足をのばしたらそのまま安静にしてください。



2 ハイハイの体勢で

おむつを替えるような姿勢をいやがる時には、ハイハイの姿勢もしくは横になって膝を抱えるような姿勢をとり、坐薬を入れてください。入れるときには、お子様に口を開けて「ハーッ」と息をしてもらおうと、入れやすくなります。入れた後は、ティッシュ等でしばらく押さえた後、静かに足をのばして安静にします。

踏ん張ると坐薬が飛び出ることがあるので、そのまま安静を保ってください。

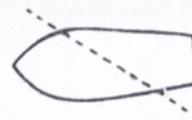


3 坐薬の分割の仕方

坐薬を半分に分けて使用するときは図のように斜めに切ります。

はさみではきれいに切れないため、カッターや包丁等を使って切るとよいでしょう。図はヒートを剥いてある状態ですが、1つずつ切り離れたヒートのまま切ると、滑りにくく切りやすいようです。

切り口が鋭くなってしまった場合、冷蔵庫に保存しないタイプの坐薬（→下記4参照）では、指に水を少量つけて、なぞるようにすると丸まります。あまり水を付けると、溶けてしまうので気を付けてください。



4 熱で溶ける坐薬と水分で溶ける坐薬

坐薬は体温で柔らかくなり吸収されるタイプと腸内の水分で柔らかくなり吸収されるタイプがあります。

体温で柔らかくなるタイプの坐薬は冷蔵庫で保存する必要があります。

違うタイプの坐薬を同時に入れると影響して吸収が悪くなる場合があります。

2種類の坐薬を使う場合は30分～1時間程度間隔をあけて使用しましょう。

5 入れる時の注意事項

入れる前はよく手を洗ってください。肛門はとてもデリケートなところなので、爪は短く切りましょう。

挿入後、少し気持ちが悪いかもしれませんが、薬が吸収する大事な時間です。安静にし、言葉をかけてあげてください。また、溶けた坐薬が下着を汚すことがあるので、必要なときにはティッシュ等で拭いてあげてください。

最後の手洗いも忘れずに。

6 入れる時に痛い場合

冷蔵庫に保存しないタイプの坐薬では、指に水を少量つけて、なぞるようにすると入りやすくなります。冷蔵庫で保存するタイプの坐薬は、ハンドクリームをごく少し付けることで、入りやすくなります。

クリームについては、使えないタイプのものもありますので、かかりつけ薬局の薬剤師等に相談するとよいでしょう。

7 坐薬の保存

坐薬は製剤により冷所に保存すべきものと、その必要がないものがあります。薬の袋の表示を見て適切に保存しましょう。わからないときは冷蔵庫に保存した方が無難です。

